

## 教育学部 初等・中等教育コース 小学校専攻 カリキュラムツリー

ディプロマポリシー：教育学部は、学士課程教育において、「広い視野と深い教養をもった豊かな人間性を基盤とした教員及び教育関係職員の養成のため、必要な基礎的・専門的な知識・技術を修得させ、併せて主体的な課題探究能力を育成する」ことを目的としています。初等・中等教育コースでは、このことを踏まえ、以下に示す学修成果を達成すべく編成・実施された教育課程において、教養教育では幅広い分野の知識、各コース・専攻では分野の特性に応じた知識・能力を身に付けるとともに、所定の単位を修得し、以下の資質・能力を身につけた者に、学士の学位を授与します。

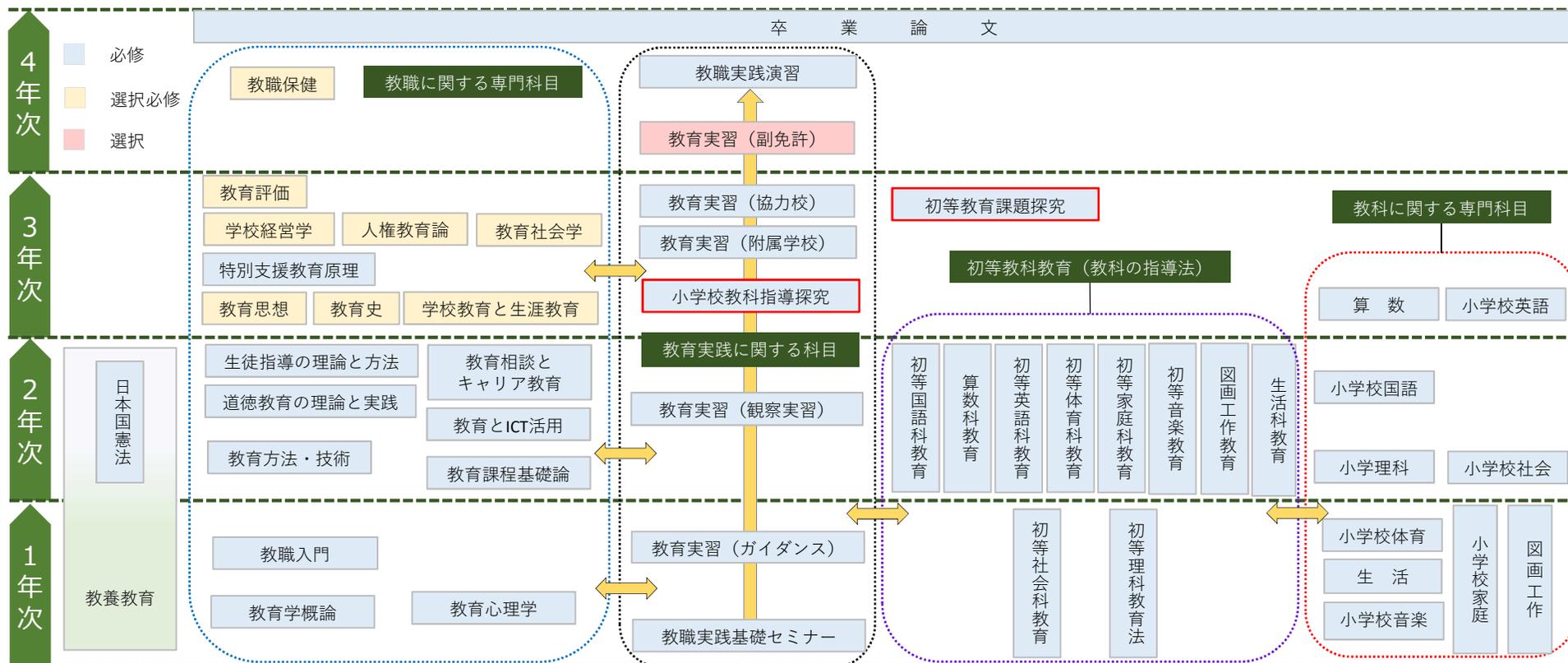
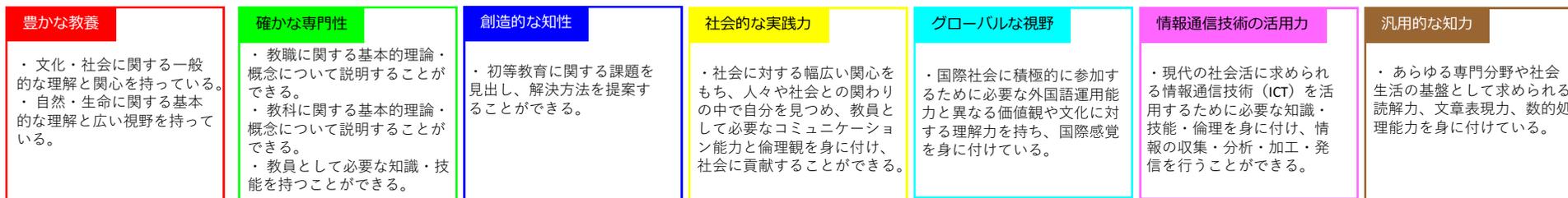
- ・ 発達途上にある子どもたちを専門的立場から理解し、実践的に指導することができる。
- ・ 現代的教育課題に関する専門的知識をもとに、課題を分析し解決することができる。
- ・ 教育上の諸問題を広い視野で多面的に捉え、協働しながら解決していくコミュニケーションができる。

### カリキュラムポリシー：

体系性：各分野の学問体系を基盤として教育課程を編成しています。

段階性：基礎的な科目から学年進行に沿って応用的・発展的な科目を学修するよう編成しています。

個別化（進路への対応）：2年次から副専攻制度を実施し、小学校専攻のほかに、教科に関する専攻および専修一つを選択し、学習するシステムを運用しています。副専攻で選んだ特定の教科や分野について、さらに専門的知見を深めたり、視野を広げたりすることができます。



# 教育学部 初等・中等教育コース 小学校専攻（地域枠） カリキュラムツリー

**ディプロマポリシー：**教育学部は、学士課程教育において、「広い視野と深い教養をもった豊かな人間性を基盤とした教員及び教育関係職員の養成のため、必要な基礎的・専門的な知識・技術を修得させ、併せて主体的な課題探究能力を育成する」ことを目的としています。初等・中等教育コースでは、このことを踏まえ、以下に示す学修成果を達成すべく編成・実施された教育課程において、教養教育では幅広い分野の知識、各コース・専攻では分野の特性に応じた知識・能力を身に付けるとともに、所定の単位を修得し、以下の資質・能力を身につけた者に、学士の学位を授与します。

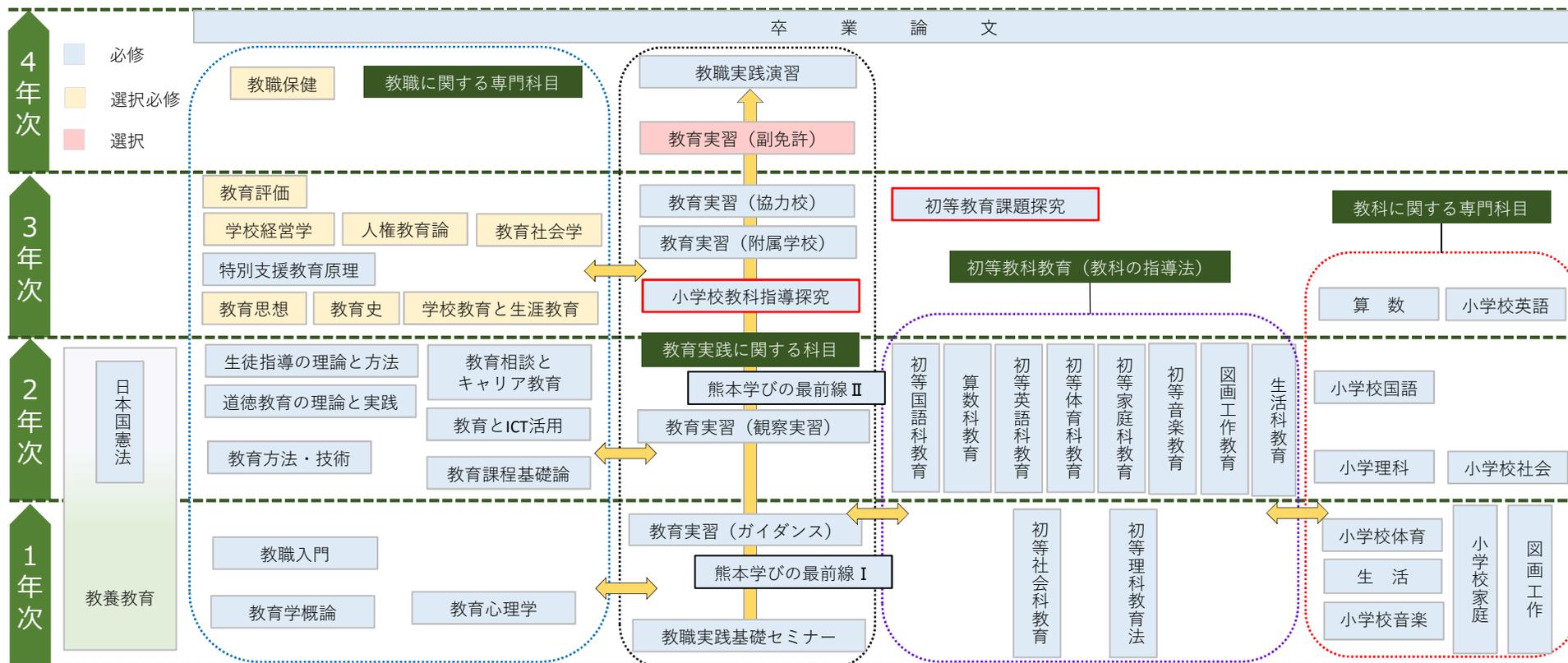
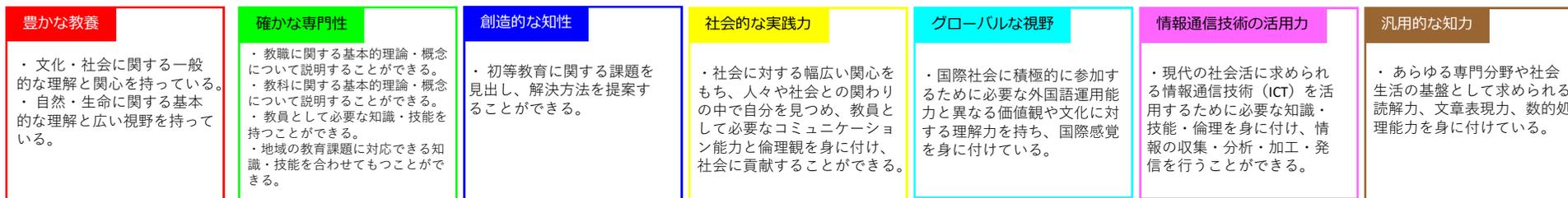
- ・ 発達途上にある子どもたちを専門的立場から理解し、実践的に指導することができる。
- ・ 現代的教育課題に関する専門的知識をもとに、課題を分析し解決することができる。
- ・ 教育上の諸問題を広い視野で多面的に捉え、協働しながら解決していくコミュニケーションができる。

## カリキュラムポリシー：

**体系性：**各分野の学問体系を基盤として教育課程を編成しています。

**段階性：**基礎的な科目から学年進行に沿って応用的・発展的な科目を学修するよう編成しています。

**個別化（進路への対応）：**2年次から副専攻制度を実施し、小学校教員養成課程のほか、他の課程および専修一つを選択し、学習するシステムを運用しています。副専攻で選んだ特定の教科や分野について、さらに専門的知見を深めたり、視野を広げたりすることができます。



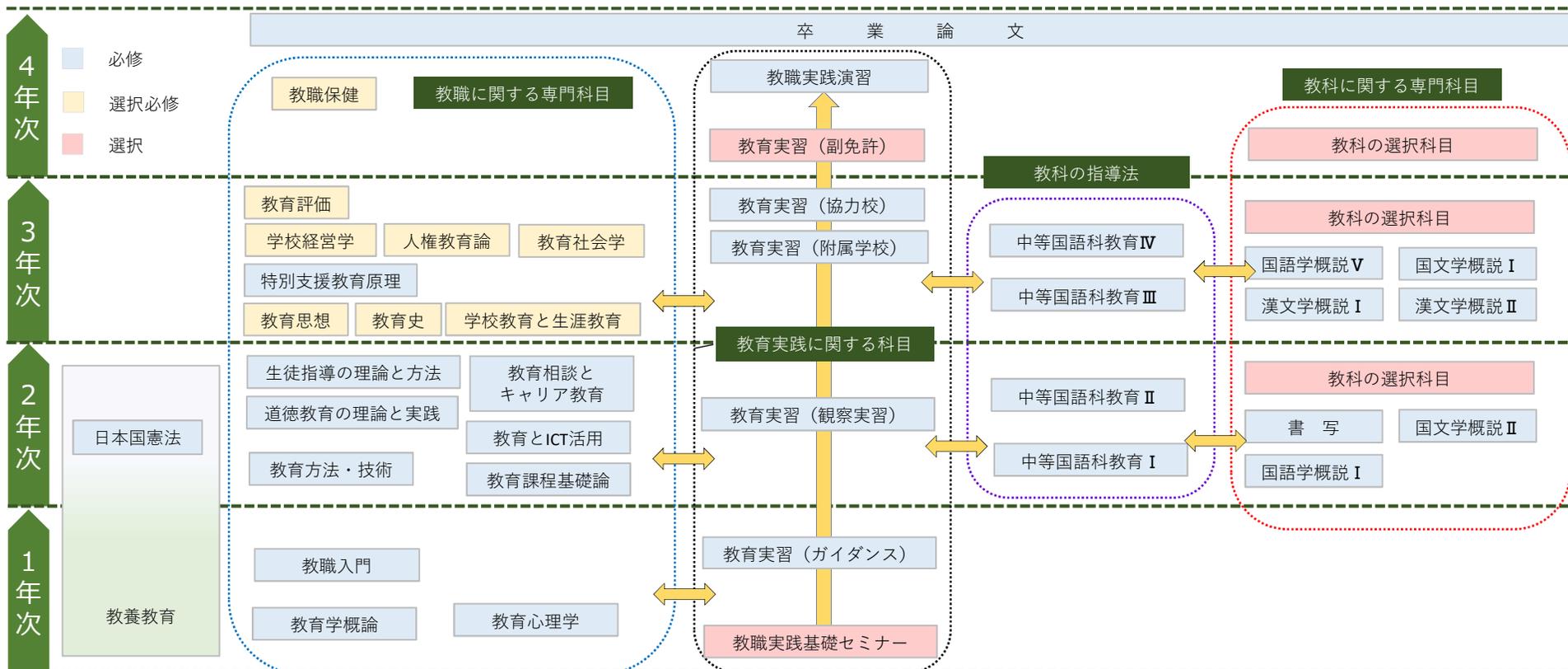
# 教育学部 初等・中等教育コース 国語専攻 カリキュラムツリー

**ディプロマポリシー**：教育学部は、学士課程教育において、「広い視野と深い教養をもった豊かな人間性を基盤とした教員及び教育関係職員の養成のため、必要な基礎的・専門的な知識・技術を習得させ、併せて主体的な課題探求能力を育成する」ことを目的としています。初等・中等教育コース国語専攻では、このことを踏まえ、以下に示す学修成果を達成すべく編成・実施された教育課程において、教養教育では幅広い分野の知識、各コース・専攻では分野の特性に応じた知識・能力を身に付けるとともに、所定の単位を修得し、以下の資質・能力を身につけた者に、学士の学位を授与します。

- ・ 言語・文学・国語科教育のすべての面での学習を通して、幅広く豊かな教養と確かな専門性を身に付け、社会に貢献することができる。
- ・ 現代社会において必要とされる創造的知性と実践力を兼ね備え、グローバルな視野と国際的対話力をもって、社会に参画することができる。
- ・ 教育上の諸問題を広い視野で多面的に捉え、協働しながら解決していくためのコミュニケーションをとることができる。

**カリキュラムポリシー**：  
**体系性**：各分野の学問体系を基盤として教育課程を編成しています。  
**段階性**：基礎的な科目から学年進行に沿って応用的・発展的な科目を学修するよう編成しています。  
**個別化**（進路への対応）：2年次から各分野の専門的な授業科目を置き、言語・文学・国語科教育の各分野での専門的な研究に対応できる科目履修を保証するよう編成しています。

<b>豊かな教養</b> ・ 国語に関する一般的な理解と関心を持ち、基礎・基本的な知識を身に付けている。そして異なる思考様式を理解し、知を高めていく主体的な学習態度が備わっている。	<b>確かな専門性</b> ・ 言語・文学・国語科教育の分野で、理論・概念や方法論に関する基本的知識を身に付け、当該分野の情報・データを活用し、問題解決のために応用できる。	<b>創造的な知性</b> ・ 言語・文学・国語科教育の分野で、自分で課題を発見し、解決のために必要な調査・研究及び実践に個人やチームで取り組み、その成果を論理的に発表・討議する能力を持っている。	<b>社会的な実践力</b> ・ 社会に対する幅広い関心を持ち、人々や社会との関わりの中で自分を見つめ、市民や教員として必要なコミュニケーション能力、倫理観を身に付け、将来進むべき道を探求し、社会に貢献する意欲を持っている。	<b>グローバルな視野</b> ・ 国際的な問題に関心を持ち、国際的な視野の中で国語を考察する力量を持つ。国際社会に積極的に参加するために必要な外国語運用能力と異なる価値観や文化に対する理解力を持ち、国際感覚を身に付けている。	<b>情報通信技術の活用力</b> ・ 現代の社会生活に求められる情報通信技術（ICT）を活用するために必要な知識・技能・倫理を身に付けている。	<b>汎用的な知力</b> ・ あらゆる専門分野や社会生活の基盤として求められる判断力、読解力、文章表現力、データ処理能力を身に付けている。
---	---	---	---	--	---	---





# 教育学部 初等・中等教育コース 数学専攻 カリキュラムツリー

ディプロマポリシー：教育学部は、学士課程教育において、「広い視野と深い教養をもった豊かな人間性を基盤とした教員及び教育関係職員の養成のため、必要な基礎的・専門的な知識・技術を修得させ、併せて主体的な課題探究能力を育成する」ことを目的としています。初等・中等教育コース数学専攻では、数学および数学教育に関する体系的な教育指導を通して、高度の教育実践力を身に付けた数学教員を育成します。学士課程の教育を受けることにより、代数学・幾何学・解析学・応用数学・数学教育の専門的知識を得ることができます。優れた学習指導能力と教材研究開発能力を持つ教員を養成することが目的です。このことを踏まえ、以下に示す学修成果を達成すべく編成された教育課程において、教養教育では幅広い分野の知識、各課程・専攻では分野の特性に応じた知識・能力を身に付けるとともに、所定の単位を修得し、以下の資質・能力を身に付けた者に、学士の学位を授与します。

- ・ 数学教員として必要な基礎的・専門的な知識・技術を身につけることができる。
- ・ 数学および数学教育に関する課題探究能力を身につけることができる。

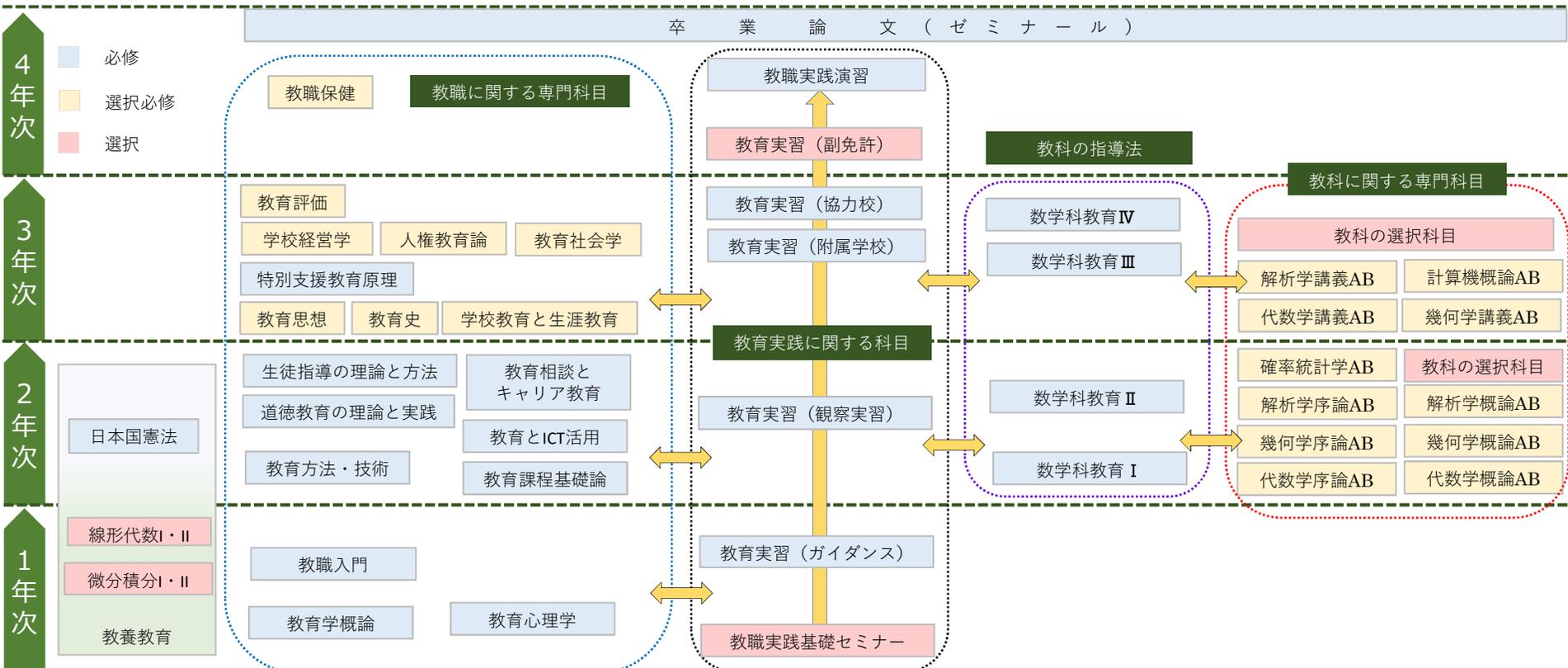
カリキュラムポリシー：

体系性：代数学・幾何学・解析学・応用数学・数学教育の各分野の学問体系を基盤として教育課程を編成しています。

段階性：基礎的な科目から学年進行に沿って専門的・発展的な科目を学修するよう編成しています。

個別化（進路への対応）：3・4年次において各分野の専門的な授業科目およびゼミナールを置き、各学生の進路に応じた指導を行えるよう編成しています。

<b>豊かな教養</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文化・社会や自然・生命に関する幅広い教養と豊かな人間性を身に付けている。</li> <li>・ 自然科学・社会科学・情報科学に関する一般的な知識を持っている。また、社会や日常生活に潜む数理的現象やその仕組みに関心を持ち、面白さを見出すことができる。</li> </ul>	<b>確かな専門性</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 数学および数学教育(代数学・幾何学・解析学・応用数学・数学教育学)の基本的理論・概念について理解し、説明することができる。</li> <li>・ 数学および数学教育(代数学・幾何学・解析学・応用数学・数学教育学)に関する文献や資料を調べ、最新の研究動向について情報を得ることができる。</li> <li>・ 教職の意義・教育の基礎理論・教育課程及び指導法・生徒指導・教育相談及び進路指導等の教職に関する基礎的な知識を持ち、理解している。</li> </ul>	<b>創造的な知性</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 数学および数学教育(代数学・幾何学・解析学・応用数学・数学教育学)の理論・実践について先行研究における問題点を整理し分析・検討・考察を行うことができる。また、解決策を見出すことができる。</li> </ul>	<b>社会的な実践力</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 数学および数学教育について得た深く幅広い知識および技能と、高い数学的・論理的思考力を活用して、学習指導と教材開発に活かすことができる。</li> </ul>	<b>グローバルな視野</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国際的な数理学の発展および現在社会への応用を把握し、数学教育の国際的な比較などを通してグローバルな視点を育てる。</li> </ul>	<b>情報通信技術の活用力</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ インターネットやeメールを利用し、数学および数学教育に関する情報の収集・分析・交換を行うことができる。</li> </ul>	<b>汎用的な知力</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 数学の具体的な授業デザインの力量を備えている。</li> <li>・ 数学および数学教育に関して得た知見や自らの考えを、明晰な論理の筋道と表現を用いて、わかりやすく伝える文章表現力・プレゼンテーション能力を身に付けている。</li> </ul>
---	--	---	--	--	---	---



# 教育学部 初等・中等教育コース 理科専攻 カリキュラムツリー

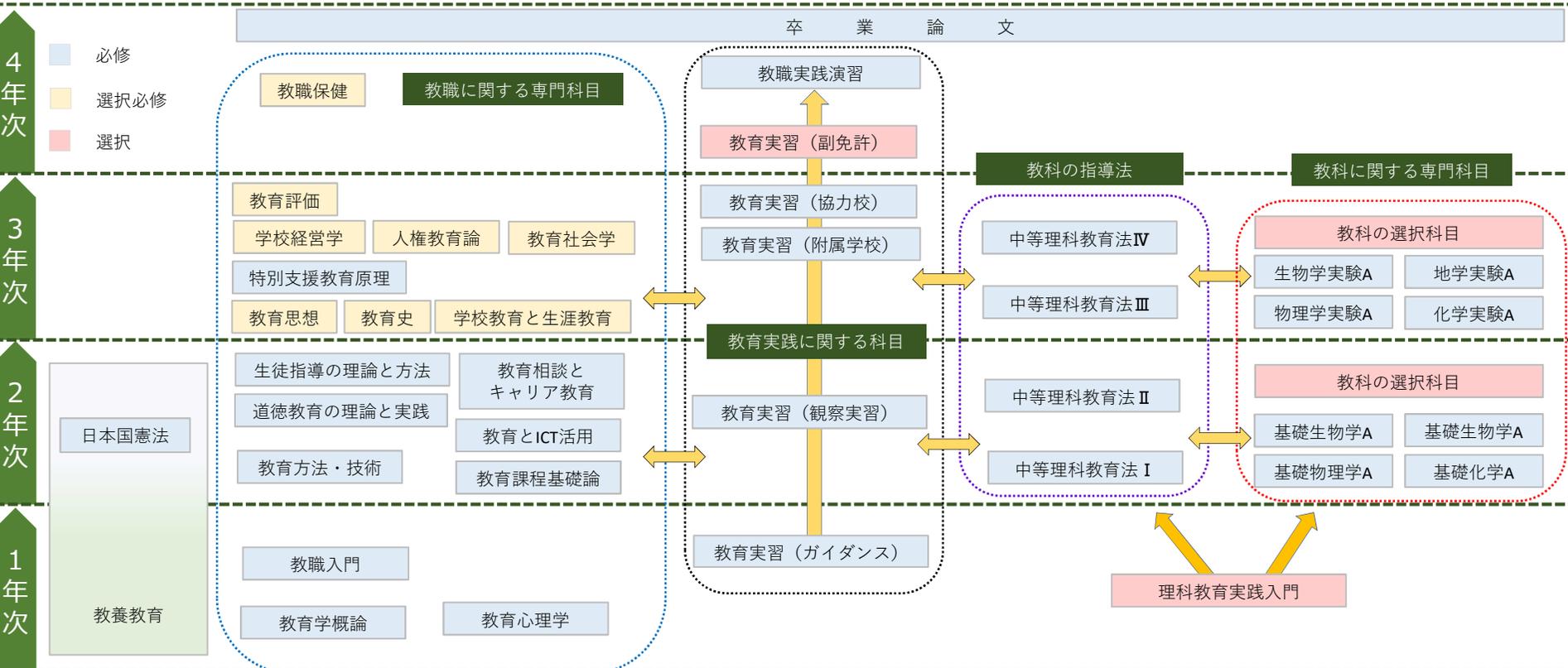
**ディプロマポリシー**：教育学部は、学士課程教育において、「広い視野と深い教養をもった豊かな人間性を基盤とした教員及び教育関係職員の養成のため、必要な基礎的・専門的な知識・技術を修得させ、併せて主体的な課題探究能力を育成する」ことを目的としています。初等・中等教育コース理科専攻では、自らの専門性を高める学びを通して、理科学習を構想・実践し、学習者に対して適切な指導・支援ができる能力を身につけることができます。具体的には、物理学、化学、生物学、地学、理科教育学の基礎的・専門的知識及び実験・観察・指導法の技能を修得して活用する能力、科学的・論理的な思考力、問題解決能力、コミュニケーション能力を身につけることができます。このことを踏まえ、以下に示す学修成果を達成すべく編成・実施された教育課程において、教養教育では幅広い分野の知識、各コース・専攻では分野の特性に応じた知識・能力を身につけるとともに、所定の単位を修得し、以下の資質・能力を身につけた者に、学士の学位を授与します。

- ・理科の探究能力および実践的指導力を修得し、教育現場に貢献できる。
- ・理科に関する現代的課題に関する専門的知識を修得し、課題を分析して解決することができる。
- ・文化・社会、自然・生命に関して、異なる見解を理解し、多様性を尊重する態度を備えている。

**カリキュラムポリシー**：

体系性：中等理科教育の教員として必要な専門性を修得するために、理科の全分野をバランスよく履修できる教育課程を編成しています。  
 段階性：学年進行にしたがって、基礎的な科目から応用的・発展的な科目を学修することができます。また、理論と実践の往還を行いながら、各学年で理科および理科の指導法の授業を学習できます。  
 個別化（進路への対応）：3年次から研究室に所属し、学生の希望する専門（物理・化学・生物・地学・理科教育）を中心に講義や演習を履修できるようにしています。

<b>豊かな教養</b> ・文化・社会に関する一般的な理解と関心を持っている。 ・自然・生命に関する基本的な理解と広い視野を持っている。	<b>確かな専門性</b> ・物理学・化学・生物学・地学・理科教育学の基本的理論・概念について説明することができる。 ・物理学・化学・生物学・地学における実験、理科指導法に関する基本的な技能を修得している。 ・自然科学・理科教育学における研究方法を修得し、問題解決に適用できる。 ・自然科学・理科教育学の最新動向について様々な情報源から自律的に学ぶことができる。	<b>創造的な知性</b> ・自然科学・理科教育学を用いて、個人やチームで理科教育実践における課題を見出し、論理的に思考し、その解決法を提案することができる。	<b>社会的な実践力</b> ・理科教員としての責務を実感し、他者や社会との関わりに必要なコミュニケーション能力や倫理観を修得し、教科および教科の教育に関する学びの成果を教育現場における教育活動につなげることができる。	<b>グローバルな視野</b> ・国際的な視野で自然科学や環境問題を捉え、資料を収集分析したり、その結果をまとめて表現したりするための外国語運用能力と多様な見解に対する理解力を身に付けている。	<b>情報通信技術の活用力</b> ・インターネットやeメールを含むICTを使用し、情報の収集・分析や交換を行うことができる。 ・ICTを活用した文書、データ処理、プレゼンテーション資料を作成する能力を身に付けている。 ・理科教育実践における実験・観察を充実させるためにICTを活用する能力を身に付けている。 ・ICTを活用した理科学習を構想し、実践することができる。 ・情報を扱う上での倫理観を修得し、教育現場におけるICTを利用した教育活動につなげることができる。	<b>汎用的な知力</b> ・相手に分かりやすく、相手の関心を惹き付ける話し方で、情報や意見を伝えることができる。 ・明晰な論理の筋道と説得力ある表現、及び数的処理能力を用いて、客観的にわかりやすい資料を作成することができる。
--	---	--	--	---	---	---



## 教育学部 初等・中等教育コース 英語専攻 カリキュラムツリー

ディプロマポリシー：教育学部は、学士課程教育において、「広い視野と深い教養をもった豊かな人間性を基盤とした教員及び教育関係職員の養成のため、必要な基礎的・専門的な知識・技術を修得させ、併せて主体的な課題探究能力を育成する」ことを目的としています。初等・中等教育コース英語専攻では、幅広く豊かな教養と確かな専門性を身に付け、社会に貢献するために必要な創造的知性と実践力を兼ね備え、グローバルな視野と国際的対話力を持った教員の養成を目指しています。このことを踏まえ、以下に示す学修成果を達成すべく編成・実施された教育課程において、教養教育では幅広い分野の知識、各課程コース・専攻では分野の特性に応じた知識・能力を身に付けるとともに、所定の単位を修得し、下記の資質・能力を身につけた者に、学士の学位を授与します。

- ・幅広く豊かな教養と確かな専門性およびグローバルな視野と国際的対話力をもとに、創造的知性と実践力を発揮し、教育現場に貢献できる。

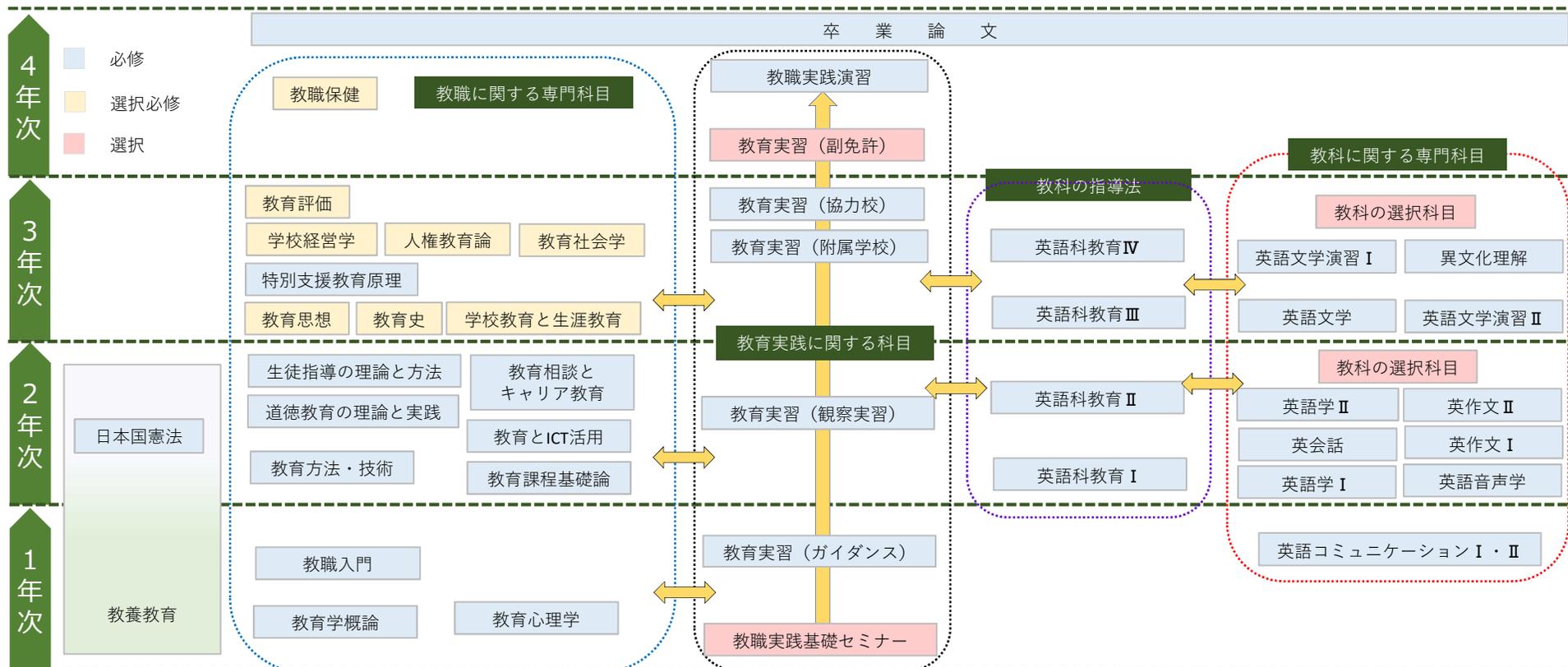
### カリキュラムポリシー：

体系性：英語学・英語文学・英語教育学の各分野の学問体系を基盤として教育課程を編成しています。

段階性：基礎的な科目から学年進行に沿って応用的・発展的な科目を学修するよう編成しています。

個別化（進路への対応）：3・4年次には英語学・英語文学・英語教育学の各分野の専門的な授業科目を置き、各分野での専門的な研究に対応できる科目履修を保证するよう編成しています。

豊かな教養	確かな専門性	創造的な知性	社会的な実践力	グローバルな視野	情報通信技術の活用	汎用的な知力
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教養ある社会人に必要な文化・社会や自然・生命に関する一般的知識を身に付け、異なる思考様式を理解し、知を高めていく主体的な学習態度が備わっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 英語学・英語文学・英語教育学の理論・概念や方法論に関する基本的知識を身に付け、各分野の情報・データを活用し、問題解決のために応用できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分で課題を発見し、解決のために必要な調査・研究及び実践に個人やグループで取り組み、その成果を論理的に発表・討議する能力を持っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会に対する幅広い関心を持ち、人々や社会との関わりの中で自分を見つめ、教員として必要なコミュニケーション能力、倫理観を身に付け、将来進むべき道を探し、社会に貢献する意欲を持っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国際社会に積極的に参加するために必要な外国語運用能力と異なる価値観や文化に対する理解力を持ち、国際感覚を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現代の社会生活に求められる情報通信技術（ICT）を活用するために必要な知識・技能・倫理を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ あらゆる専門分野や社会生活の基盤として求められる読解力、文章表現力、データ処理能力を身に付けている。</li> </ul>



# 教育学部 初等・中等教育コース 実技系専攻 音楽 カリキュラムツリー

ディプロマポリシー：教育学部は、学士課程教育において、「広い視野と深い教養をもった豊かな人間性を基盤とした教員及び教育関係職員の養成のため、必要な基礎的・専門的な知識・技術を修得させ、併せて主体的な課題探究能力を育成する」ことを目的としています。**初等・中等教育コース実技系専攻（音楽）**では、「音楽および音楽科教育について広い視野と深い教養、高度な技能をもった豊かな人間性を基盤とした教員及び教育関係職員の養成」を目標とするとともに、「音楽科教員として必要な基礎的・専門的な知識・技能を修得し、併せて主体的な課題探究能力をもった人材の育成」を目指しています。これらのことを踏まえ、以下に示す学修成果を達成すべく編成・実施された教育課程において、所定の単位を修得し、以下の資質・能力を身につけた者に、学士の学位を授与します。

- ・ 発達途上にある子どもたちに対する音楽および音楽科教育についての専門的立場からの理解力・実践的指導力を身につけることができる。
- ・ 音楽科教育における現代的な教育課題に関する専門的知識を身につけ、課題を分析し解決するために活用できる。
- ・ 音楽科教育上の諸問題を広い視野で多面的に捉え、協働しながら解決していくためのコミュニケーション能力を身につけることができる。

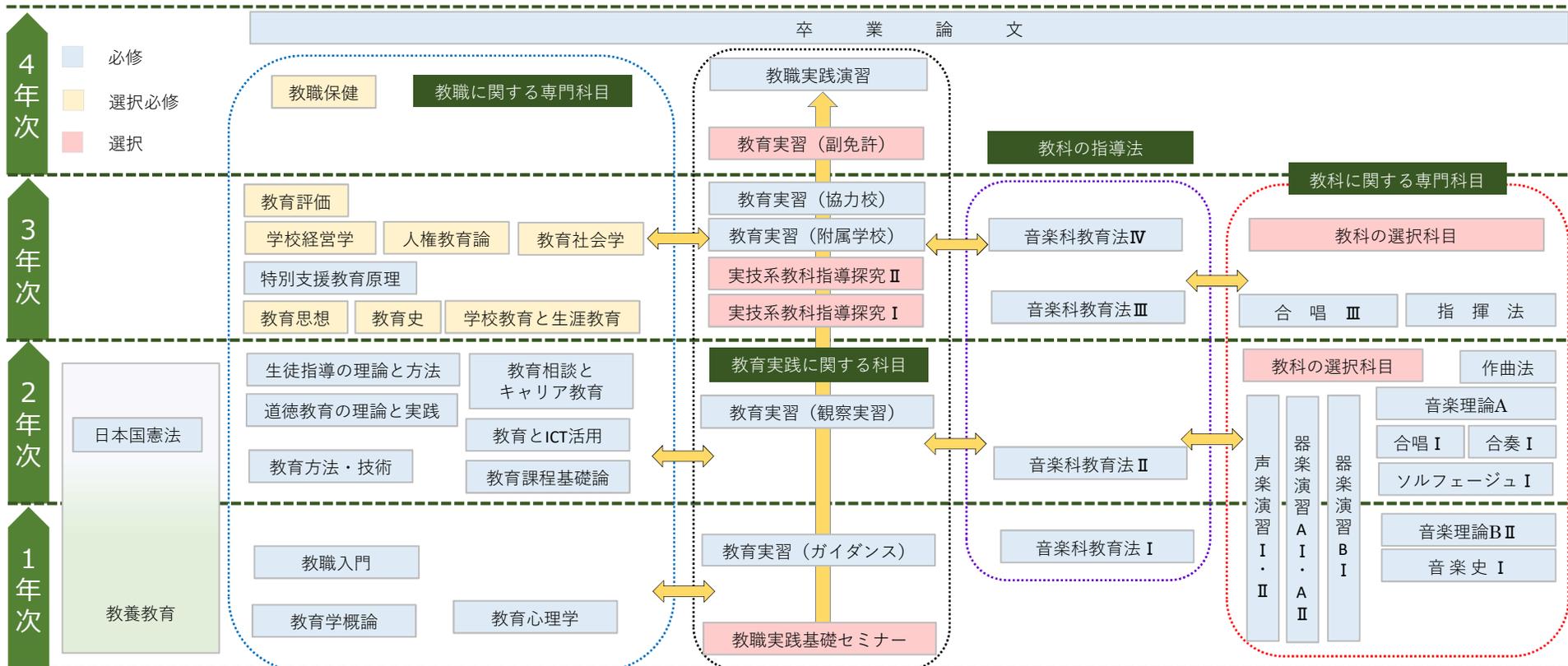
カリキュラムポリシー：

体系性：音楽科教育に関する各分野の学問体系を基盤として教育課程を編成しています。

段階性：基礎的な科目から学年進行に沿って応用的・発展的な科目を学習するよう編成しています。

個別化（進路への対応）：望ましい音楽科教員等になるために3・4年次に設定した個々の研究分野に即した科目履修を保证するよう編成しています。

<b>豊かな教養</b> ・ 望ましい音楽科教員として音楽の理論、概念、歴史をはじめ、文化・社会や自然・生命に関する幅広い知識を身に付け、物事に対する探求心と豊かな教養を身に付けている。	<b>確かな専門性</b> ・ 音楽および音楽科教育に関する理論、概念、歴史の専門的知識と声楽・器楽および作曲・編曲等に関する高度な技能を身に付けている。また、児童・生徒への音楽の学習指導に関する専門的知識・技能を身に付けている。	<b>創造的な知性</b> ・ 音楽および音楽科教育に関する課題を発見し、解決のために個人やチームで取組み、その成果を発表・実践する能力を持っている。	<b>社会的な実践力</b> ・ 音楽および音楽科教育をもとに社会に対する幅広い関心を持ち、人々や社会との関わりの中で自分を見つめ、市民や職業人として必要なコミュニケーション能力、倫理観を身に付け、将来進むべき道を探索し、社会に貢献する意欲を持っている。	<b>グローバルな視野</b> ・ 音楽や音楽科教育を通して国際社会に積極的に参加するために必要な価値観や文化に対する理解力を持ち、国際感覚を身に付けている。	<b>情報通信技術の活用力</b> ・ 情報通信技術（ICT）を活用した情報収集や学習指導に必要な知識・技能・倫理を身に付けている。	<b>汎用的な知力</b> ・ あらゆる専門分野や社会生活の基盤として求められる読解力、表現力を身に付けている。
--	--	--	--	--	---	---



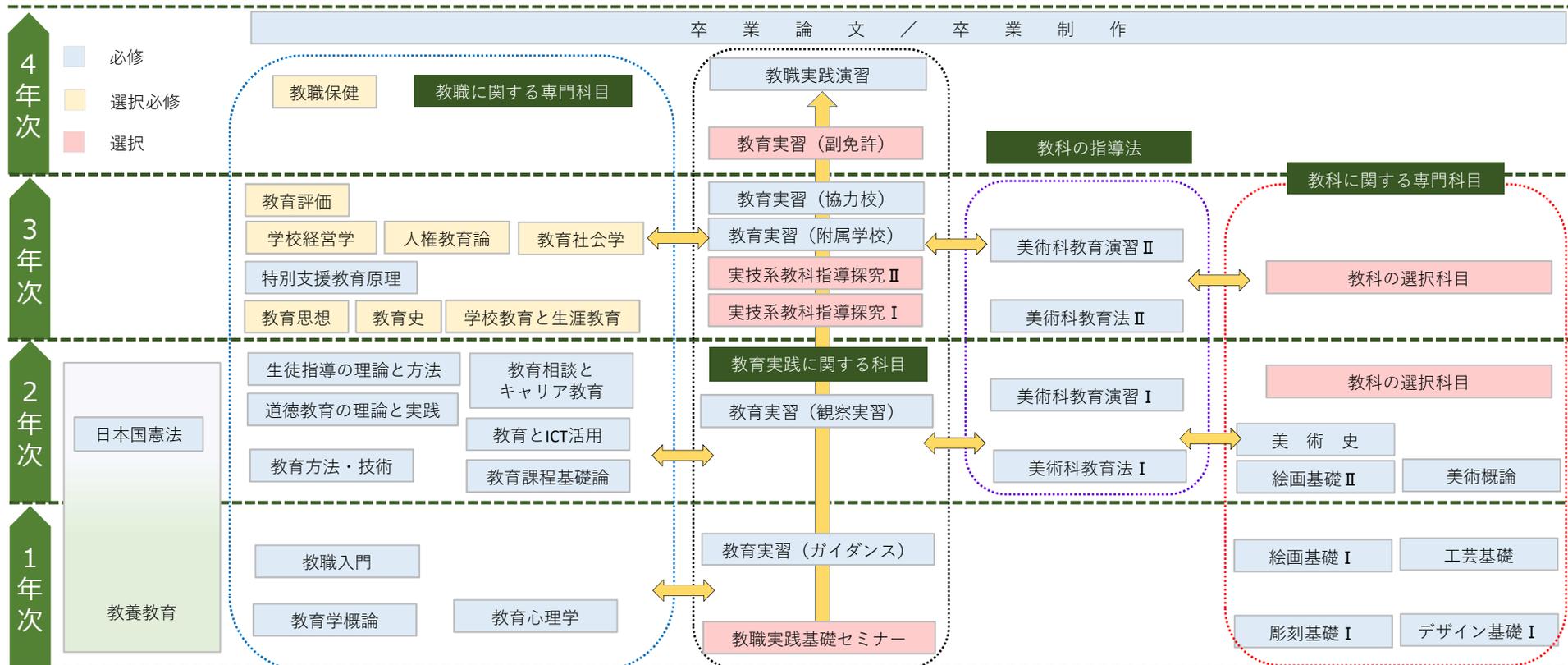
# 教育学部 初等・中等教育コース 実技系専攻 美術 カリキュラムツリー

ディプロマポリシー：教育学部は、学士課程教育において、「広い視野と深い教養をもった豊かな人間性を基盤とした教員及び教育関係職員の養成のため、必要な基礎的・専門的な知識・技術を修得させ、併せて主体的な課題探求能力を育成する」ことを目的としています。**初等・中等教育コース実技系専攻（美術）**では、このことを踏まえ、以下に示す学修成果を達成すべく編成・実施された教育課程において、教養教育では幅広い分野の知識、各課程・専攻では分野の特性に応じた知識・能力を身に付けるとともに、所定の単位を修得し、以下の資質・能力を身につけた者に、学士の学位を授与します。

- ・発達途上にある子どもたちに対する美術および美術科教育についての専門的立場からの理解力・実践的指導力を身に付けることができる。
- ・美術科教育における現代的な教育課題に関する専門的知識を身につけ、問題を分析し解決するために活用できる。
- ・美術科教育上の諸問題を広い視野で多面的に捉え、協働しながら解決していくためのコミュニケーション能力を身につけることができる。

カリキュラムポリシー：  
 体系的性：美術科教育に関する各分野の学問体系を基盤として教育課程を編成しています。  
 段階性：基礎的な科目から学年進行に沿って応用的・発展的な科目を学習するよう編成しています。  
 個別化（進路への対応）：望ましい美術科教員になるために3・4年次に設定した個々の研究分野に即した科目履修を保证するよう編成しています。

<b>豊かな教養</b> ・望ましい美術科教員として美術の理論、概念、歴史をはじめ、文化・社会や自然・生命に関する幅広い知識を身につけ、物事に対する探究心と豊かな教養を身につけている。	<b>確かな専門性</b> ・美術および美術科教育に関する理論、概念、歴史の専門的知識と、絵画、彫刻およびデザイン、工芸、美術理論・美術史等に関する高度な技能を身に付けている。また、児童・生徒への美術の学修指導に関する専門的な知識・技能を身に付けている。	<b>創造的な知性</b> ・美術および美術科教育に関する課題を発見し、解決のために個人やチームで取り組み、その成果を発表・実践する能力を持っている。	<b>社会的な実践力</b> ・美術および美術科教育をもとに社会に対する幅広い関心を持ち、人々や社会との関わりの中で自分を見つめ市民や職業人として必要なコミュニケーション能力、倫理観を身に付け、将来進むべき道を探求し、社会に貢献する意欲を持っている。	<b>グローバルな視野</b> ・美術や美術科教育を通して国際社会に積極的に参加するために必要な価値観や文化に対する理解力を持ち、国際的感覚を身に付けている。	<b>情報通信技術の活用力</b> ・情報通信技術（ICT）を活用した情報収集や学習指導に必要な知識・技能・倫理を身に付けている。	<b>汎用的な知力</b> ・あらゆる専門分野や社会生活の基盤として求められる読解力、表現力を身に付けている。
---	--	--	--	--	--	--



# 教育学部 初等・中等教育コース 実技系専攻 保健体育 カリキュラムツリー

**ディプロマポリシー**：教育学部は、学士課程教育において、「広い視野と深い教養をもった豊かな人間性を基盤とした教員及び教育関係職員の養成のため、必要な基礎的・専門的な知識・技術を修得させ、併せて主体的な課題探究能力を育成する」ことを目的としています。初等・中等教育コース実技系専攻（保健体育）では、深い教養と専門性に裏付けられた実践力を備えた保健体育科教員の養成のため、体育・スポーツなどの指導や学習方法に関する理論に基づいた指導力と実践力を修得させ、併せて主体的な課題探究能力を育成することを目的としています。このことを踏まえ、以下に示す学修成果を達成すべく編成・実施された教育課程において、教養教育では幅広い分野の知識、各コース・専攻では分野の特性に応じた知識・能力を身に付けるとともに、所定の単位を取得し、以下の資質・能力を身につけた者に、学士の学位を授与します。

- ・保健体育科教員として必要な基礎的・専門的な知識・技術を身につけ、実践的に指導することができる。
- ・課題探求能力、協働しながら解決していくコミュニケーション能力を身につけることができる。

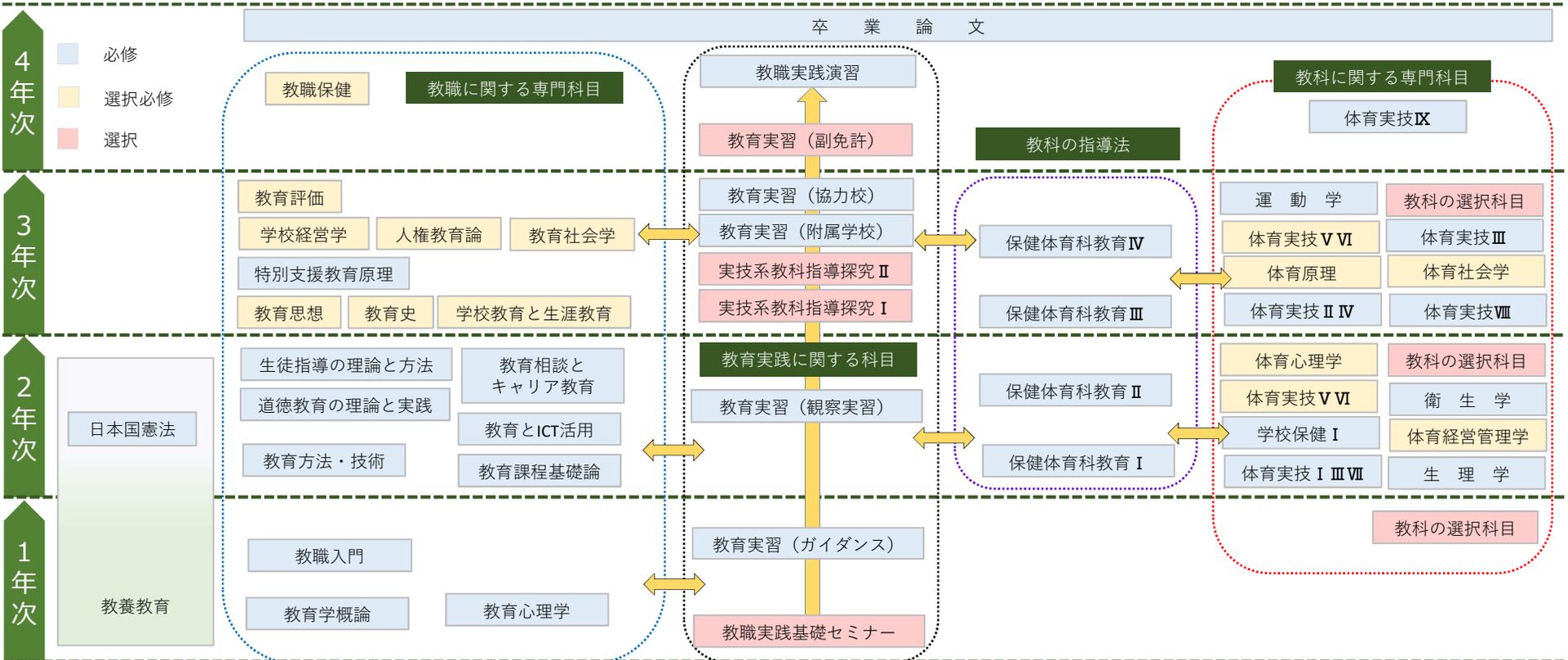
**カリキュラムポリシー**：初等・中等教育コース実技系専攻（保健体育）は、学士課程教育において、深い教養と専門性に裏付けられた実践力を備えた保健体育科教員の養成のため、体育・スポーツなどの指導や学習方法に関する理論に基づいた指導力と実践力を修得させ、併せて主体的な課題探究能力を育成することを目的としています。このことを踏まえ、保健体育講座では、以下の方針に基づき教育カリキュラムを編成しています。

**体系性**：体育実技、体育理論・運動学、生理学及び衛生学、学校保健、保健体育科教育の各分野の学問体系を基盤として教育課程を編成しています。

**段階性**：基礎的な科目から学年進行に沿って応用的・発展的な科目を学修するよう編成しています。

**個別化（進路への対応）**：3年次からゼミナールを開講し、将来の進路に即した履修を保证するように編成しています。

<b>豊かな教養</b> ・教養ある教員に必要な文化・社会および自然・生命に関する一般的知識を身に付け、様々な思考様式を理解している。 ・知を高めるための主体的な学修態度が備わっている。	<b>確かな専門性</b> ・教職の基本的理論・概念について理解し、説明することができる。 ・保健体育関連の教科教育・教科専門の基本的理論・概念について理解し、説明することができる。 ・教職および保健体育関連の教科教育・教科専門における研究手法を理解・取得し、使用することができる。	<b>創造的な知性</b> ・教職および保健体育関連の教科教育・教科専門の最新動向に対して常に興味・関心を持ち、自主的に学ぶことができる。 ・自主的な学びを通して保健体育関連の教科教育・教科専門に関する課題を明らかにし、その解決に向けた柔軟で論理的な思考ができる。	<b>社会的な実践力</b> ・現代的教育課題に対し幅広い関心を持ち、適切な対人関係を構築するためのコミュニケーション能力や倫理観を身に付け、協働しながら課題を解決する方法を探ることができる。	<b>グローバルな視野</b> ・世界共通のスポーツ文化を通して、異文化や共生社会に対する理解力を身に付け、国際的な友好と親善に意欲を持っている。	<b>情報通信技術の活用力</b> ・社会生活に求められる情報通信技術（ICT）を活用するために必要な知識・技能・倫理を身に付け、情報の収集や分析、発信を行うことができる。	<b>汎用的な知力</b> ・あらゆる専門分野や社会生活の基盤として求められる読解力、文章表現力、数的処理能力を身に付けている。
---	--	--	---	--	---	---



## 教育学部 初等・中等教育コース 実技系専攻 技術 カリキュラムツリー

ディプロマポリシー：教育学部は、学士課程教育において、「広い視野と深い教養をもった豊かな人間性を基盤とした教員及び教育関係職員の養成のため、必要な基礎的・専門的な知識・技術を修得させ、併せて主体的な課題探究能力を育成する」ことを目的としています。初等・中等教育コース 実技系専攻（技術）では、「自らの専門性を確立することによって、教科（技術）の教育目的を適切に児童・生徒に伝えることができる能力を獲得すること」ができます。このことを踏まえ、本学が定める学修成果を達成すべく編成・実施された教育課程において、教養教育では幅広い分野の知識、各課程・専攻では分野の特性に応じた知識・能力を身に付けるとともに、所定の単位を修得し、以下の資質・能力を身につけた者に、学士の学位を授与します。

- ・木材加工、金属加工、機械、電気、栽培、情報とコンピュータ、技術教育学の基礎的・専門的知識および製作・制作・育成・指導法の技能を習得し、活用することができる。
- ・科学技術的・論理的な思考力、問題解決能力、コミュニケーション能力、ICT活用能力を身につけ、発揮することができる。

カリキュラムポリシー：

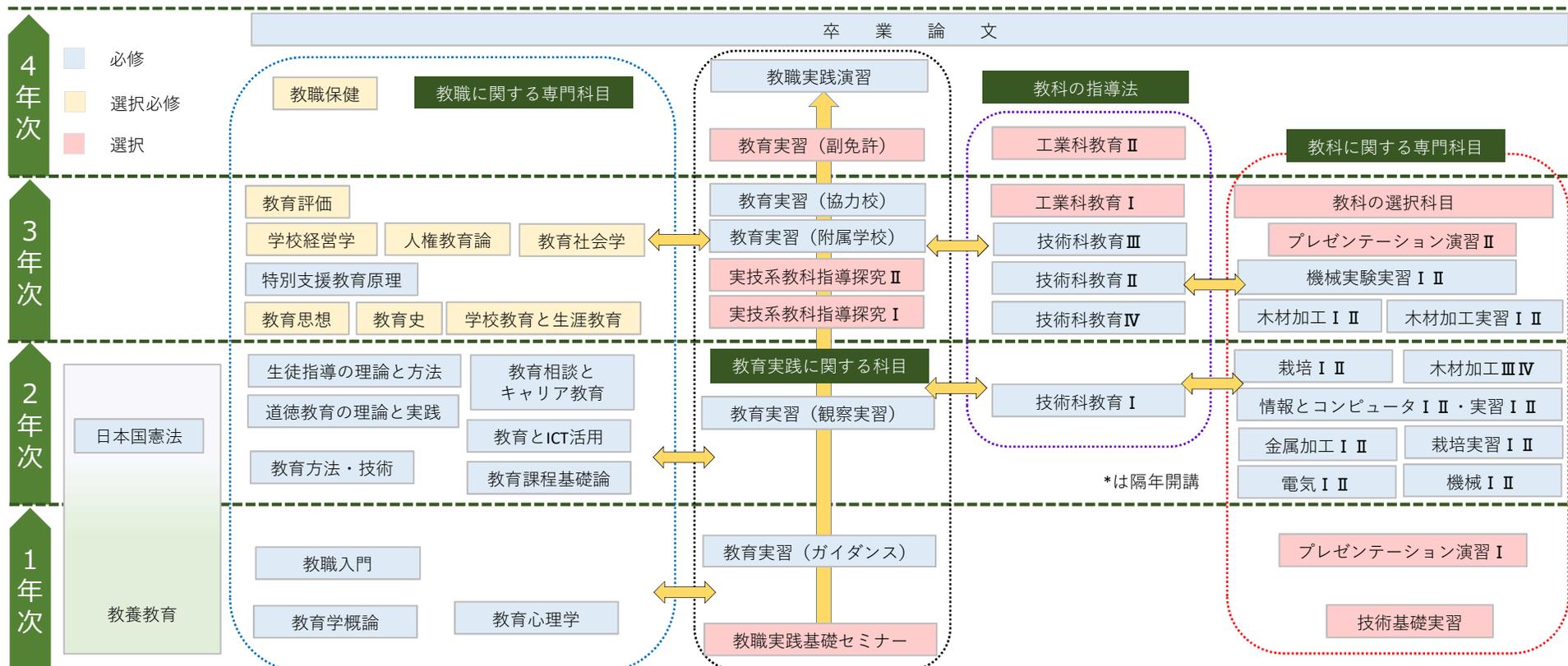
体系性：各領域の学問体系を基盤として、技術教育の全領域を網羅する教育課程を編成しています。

段階性：教養教育に始まり学年進行に従って、基礎的な科目から応用的・発展的な科目を学修するよう編成しています。

個別化（進路への対応）：1年次には各領域の専門的な授業科目を置き、将来の進路に即した科目履修を保証するよう編成しています。

具体的には、木材加工、金属加工、機械、電気、栽培、情報とコンピュータ、技術教育学の基礎的・専門的知識 および製作・制作・育成・指導法の技能を習得できるように編成しています。

豊かな教養	確かな専門性	創造的な知性	社会的な実践力	グローバルな視野	情報通信技術の活用力	汎用的な知力
<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化・社会に関する一般的な理解と関心を持っている。</li> <li>・自然・生命に関する基本的な理解と広い視野を持っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術教育の基本的理論・概念について説明することができる。</li> <li>・技術教育の指導法に関する基本的な技能を修得している。</li> <li>・技術教育における研究手法を用いることができる。</li> <li>・技術教育の最新動向について様々な情報源から自律的に学ぶことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術教育に関する知識・理解・技能により、自分で現実の課題を見出し、解決法を提案するとともにチームで協働的に取り組み、その成果を発表することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柔軟な発想と論理的思考ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異文化理解と多様性に向けた持続可能な社会の実現を考慮した思考ができる。</li> <li>・グローバルな視野をもち、柔軟な発想と論理的思考ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報機器を活用したプレゼンテーションを行うことができる。</li> <li>・ICTを活用し、情報の収集・分析、加工、発信を行うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手に分かりやすく、相手の関心を惹き付ける話し方で、情報や意見を伝えることができる。</li> <li>・明晰な論理の筋道と説得力ある表現を用いて、文章を作成することができる。</li> <li>・職業意識・職業意欲を持っている。</li> </ul>



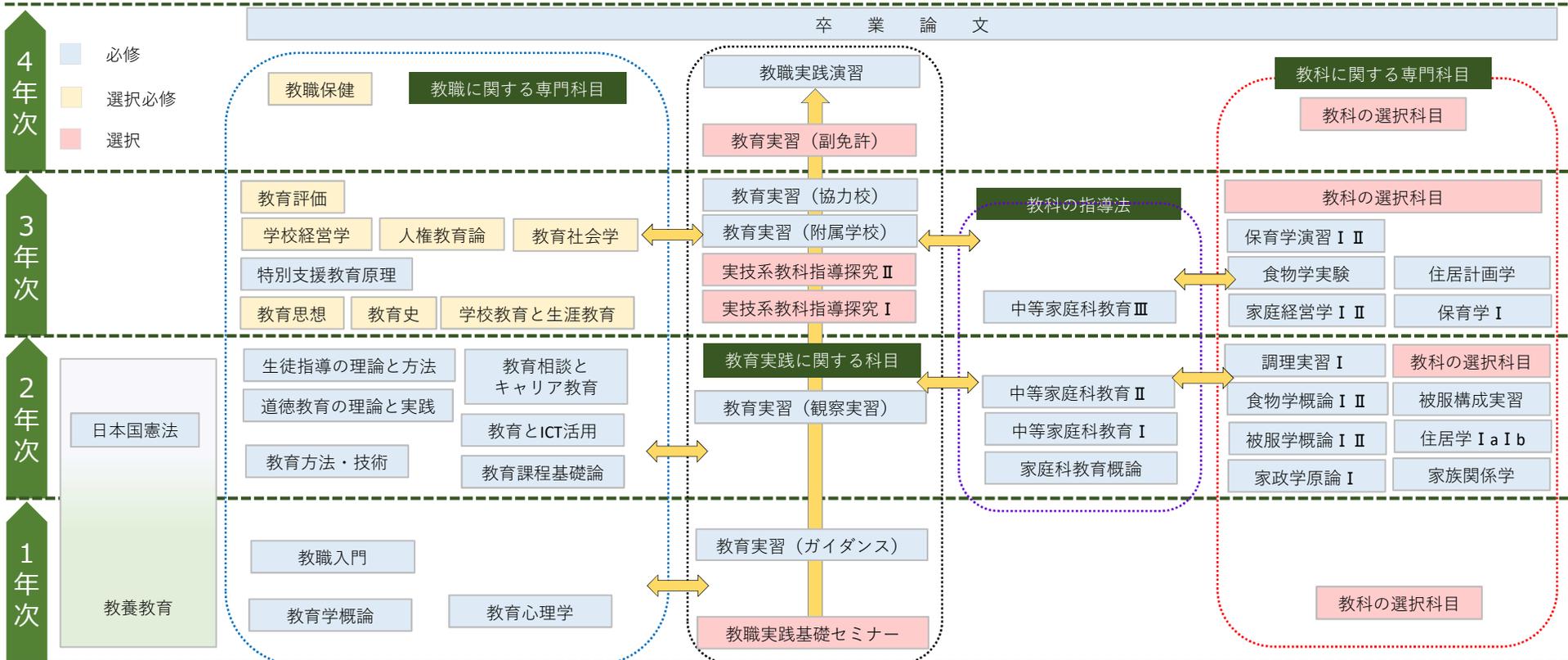
# 教育学部 初等・中等教育コース 実技系専攻 家庭 カリキュラムツリー

**ディプロマポリシー：**教育学部は、学士課程教育において、「広い視野と深い教養をもった豊かな人間性を基盤とした教員及び教育関係職員の養成のため、必要な基礎的・専門的な知識・技術を修得させ、併せて主体的な課題探究能力を育成する」ことを目的としています。初等・中等教育コース実技系専攻（家庭）では、このことを踏まえ、以下に示す学修成果を達成すべく編成・実施された教育課程において、教養教育では幅広い分野の知識、各コース・専攻では分野の特性に応じた知識・能力を身に付けるとともに、所定の単位を修得し、以下の資質・能力を身に付けた者に学士の学位を授与します。

- ・ 広い教養・視野を持ち、豊かな人間性と高度の教育実践力を身に付け、家庭科教育の発展に貢献できる。
- ・ 中学校技術・家庭科（家庭分野）の教科指導と生徒指導・教育方法等の教職に関する専門性を身に付け、教育現場の抱える問題解決に自らの専門力を応用できる。
- ・ 論理的な思考力を有し、多様な価値観・生活文化をもった人々とコミュニケーションをとることができる。

**カリキュラムポリシー：**  
 体系的性：家庭経営学、被服学、食物学、住居学、保育学、家庭科教育学のいずれの分野も一定の水準以上の専門性を身につけるよう体系的に教育課程を編成しています。  
 段階性：1年次から4年次までの教育実習の段階性を中軸に、学年進行に従って、導入・基礎的な科目から応用・発展的な科目を学習できるよう教育課程を編成しています。  
 個別化（進路への対応）：3、4年時には各分野の専門的な授業科目を置き、卒業論文担当教員から個別の関心に応じた研究指導を受けることで、より専門的な知識と技能を身につけることができるよう教育課程を編成しています。

<b>豊かな教養</b> ・ 教養ある社会人に必要な文化・社会や自然・生命に関する一般的な知識を身に付け、異なる思考様式を理解し、知を高めていく主体的な学習態度が備わっている。	<b>確かな専門性</b> ・ 家庭科教育に関する理論・概念や方法論等に関する基本的知識と技術を身に付け、家庭科教育に関する内容と方法に関する基本的知識と技術を活用し、中学校技術・家庭（家庭分野）の教科指導・生徒指導等の問題解決のために応用できる。	<b>創造的な知性</b> ・ 中学校技術・家庭（家庭分野）の教科指導や生徒指導等に関わる課題を自分で発見し、解決のために必要な調査・研究及び実践に個人やチームで取り組み、その成果を論理的に発表・討議する能力を持っている。	<b>社会的な実践力</b> ・ 社会に対する幅広い関心を持ち、人々や社会との関わりの中で自分を見つめ、市民や職業人（特に教員）として必要なコミュニケーション能力、倫理観を身に付け、将来進むべき道を探索し、社会に貢献する意欲を持っている。	<b>グローバルな視野</b> ・ 国際社会に積極的に参加するために必要な外国語運用能力と異なる価値観や文化に対する理解力を持ち、国際感覚を身に付けている。	<b>情報通信技術の活用力</b> ・ 社会生活に求められる情報通信技術（ICT）を活用するために必要な知識・技能・倫理を身に付けている。	<b>汎用的な知力</b> ・ あらゆる専門分野や社会生活の基盤として求められる読解力、文章表現力、数的処理能力を身に付けている。
---	---	--	--	---	--	--



## 教育学部 初等・中等教育コース 小学校専攻（副専攻：教育学） カリキュラムツリー

ディプロマポリシー：教育学部は、学士課程教育において、「広い視野と深い教養をもった豊かな人間性を基盤とした教員及び教育関係職員の養成のため、必要な基礎的・専門的な知識・技術を修得させ、併せて主体的な課題探究能力を育成する」ことを目的としています。小学校教員養成課程では、このことを踏まえ、以下に示す学修成果を達成すべく編成・実施された教育課程において、教養教育では幅広い分野の知識、各課程・専攻では分野の特性に応じた知識・能力を身に付けるとともに、所定の単位を修得し、以下の資質・能力を身につけた者に、学士の学位を授与します。

- ・ 発達途上にある子どもたちを専門的立場から理解し、実践的に指導することができる。
- ・ 現代的教育課題に関する専門的知識をもとに、課題を分析し解決することができる。
- ・ 教育上の諸問題を広い視野で多面的に捉え、協働しながら解決していくコミュニケーションができる。

カリキュラムポリシー：

体系的性：教育学および隣接諸科学の学問体験を基盤として教育課程を編成しており、広い視点から教育学に関する知識・理解を習得することができます。

段階性：基礎的な科目から学年進行にそって応用的・発展的な科目を講義や演習を通して学修することにより、教員に必要な汎用的技能を習得することができます。

個別化：3、4年次には、教育学の専門的な授業科目をおき、教職など将来の進路を見とおした科目履修を保障するよう編成しています。

### 豊かな教養

・ 教育学に関する一般的な理解と関心を持ち、教育的現実に関する深い関心と広い視野を持っている。さらに、教育に関する知識や理解を高めていく主体的な学習態度が備わっている。

### 確かな専門性

・ 教育学の理論・概念や方法論に関する基本的認識を獲得し、当該分野の情報・データを活用し、問題解決のために、その成果を応用できる。

### 創造的な知性

・ 教育学や教育実践における課題を発見し、解決のために必要な調査・研究をすすめて、実践に個人やチームで取り組み、その成果を論理的に発表・討議する能力を持っている。

### 社会的な実践力

・ 社会や教育に対する幅広い関心を持ち、市民としての教養や実践力を身につけ、それを市民生活や職業生活において活かすことができる。

### グローバルな視野

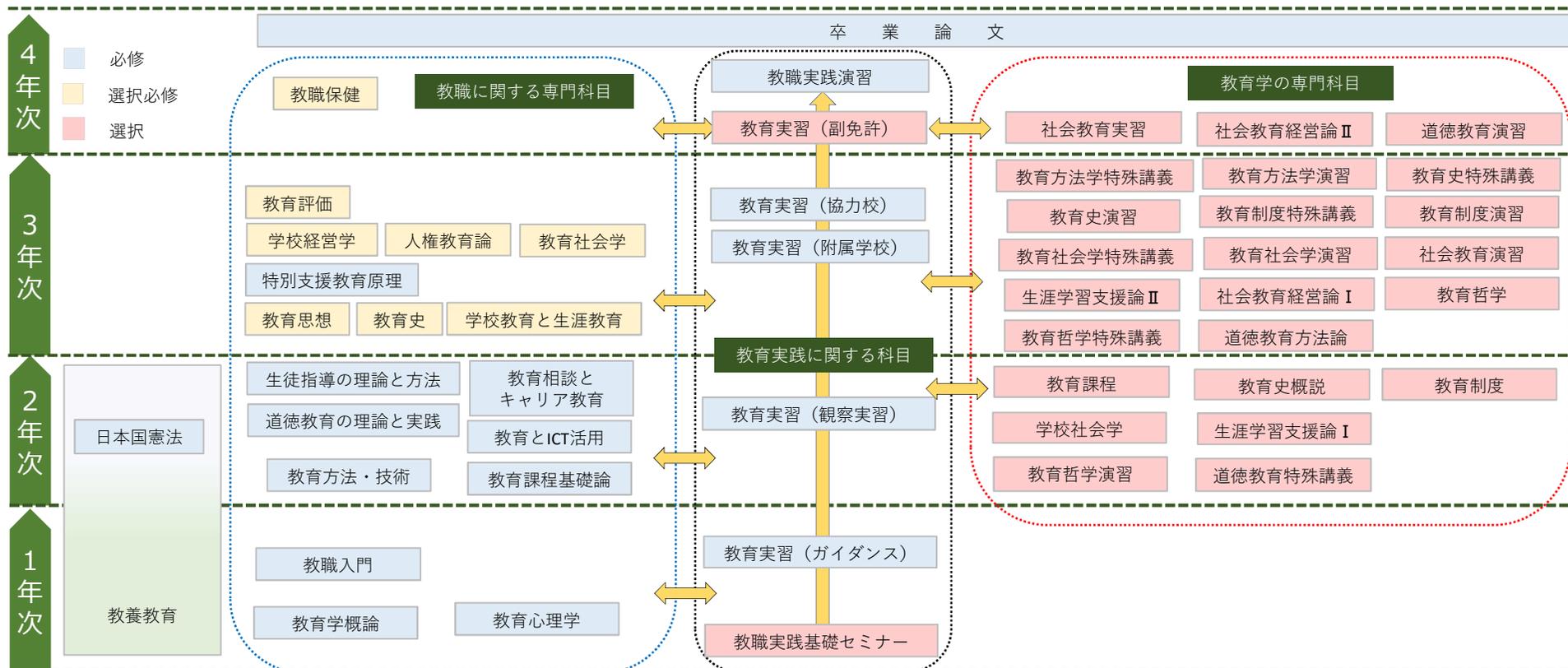
・ 国際的な問題に関心を持ち、国際的な視野の中で教育を考察する力を持ち、異なる価値観や文化に対する理解力を持っている。

### 情報通信技術の活用力

・ 社会生活や職業生活に求められる情報通信技術を活用するために必要な知識・技能・倫理を身につけ、情報を読みとくためのメディアリテラシーを身につけている。

### 汎用的な知力

・ あらゆる専門分野や社会生活の基盤として求められる批判的知性、自主的判断力、情報読解力を身につけている。



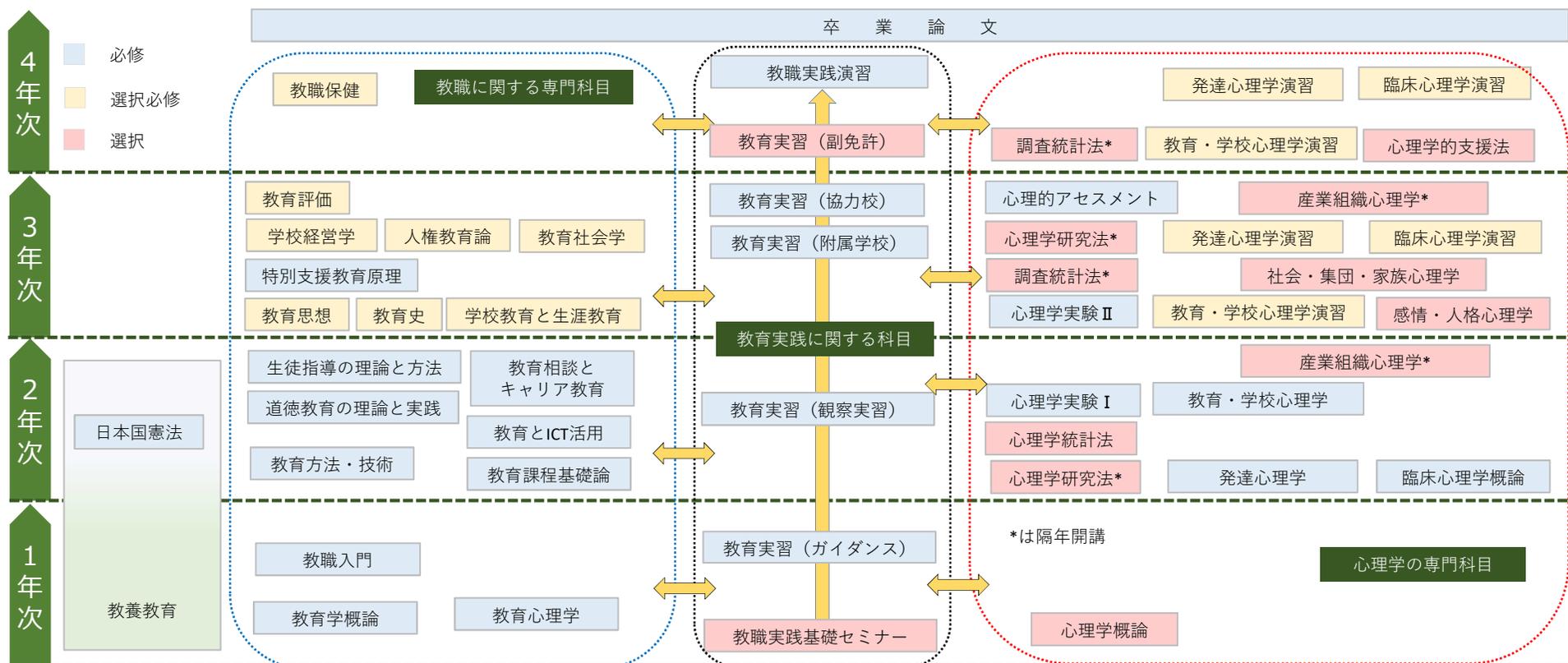
## 教育学部 初等・中等教育コース 小学校専攻（副専攻：心理学） カリキュラムツリー

ディプロマポリシー：教育学部は、学士課程教育において、「広い視野と深い教養をもった豊かな人間性を基盤とした教員及び教育関係職員の養成のため、必要な基礎的・専門的な知識・技術を修得させ、併せて主体的な課題探究能力を育成する」ことを目的としています。小学校教員養成課程では、このことを踏まえ、以下に示す学修成果を達成すべく編成・実施された教育課程において、教養教育では幅広い分野の知識、各課程・専攻では分野の特性に応じた知識・能力を身に付けるとともに、所定の単位を修得し、以下の資質・能力を身につけた者に、学士の学位を授与します。

- ・ 発達途上にある子どもたちを専門的立場から理解し、実践的に指導することができる。
- ・ 現代的教育課題に関する専門的知識をもとに、課題を分析し解決することができる。
- ・ 教育上の諸問題を広い視野で多面的に捉え、協働しながら解決していくコミュニケーションができる。

カリキュラムポリシー：体系性：「心理学実験I、II」「心理的アセスメント」「教育・学校心理学」「発達心理学」「臨床心理学概論」を必修し、心理学基礎科目群、教育・発達心理学科目群、臨床心理学科目群、応用心理学科目群の中から選択履修した上で、最終年に卒業論文を作成する構成になっています。段階性：低学年時には心理学基礎科目（研究法や概論）を中心に履修し、後続学年で心理学に関する基礎理論に関する科目（教育・学校心理学、発達心理学、臨床心理学）を履修し、高学年で応用心理学（社会・集団・家族心理学、産業・組織心理学）に関する科目を履修することで、段階的に知識を深める構成になっています。個別化（公認心理師プログラム）：保健医療、福祉、教育、司法、産業・労働の分野において心理学に関する専門的知識や技術を修得し支援業務に携わる心理職「公認心理師」受験資格プログラムをR2年度入学生から受講することができます。

豊かな教養	確かな専門性	創造的な知性	社会的な実践力	グローバルな視野	情報通信技術の活用力	汎用的な知力
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育・発達・臨床の3領域の心理学をまんべんなく履修して、社会・文化における人間の様々な営みについて理解するための心理学的知識や見方・考え方を身に付けている。また、講義、実験、演習をまんべんなく履修することで、自己学習能力が身に付いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3領域の心理学を講義、演習、実験を通じて学ぶことで、心理学の「理論・概念」「方法論」「データ分析」「応用、問題解決の技能」といった、心理学全般の専門的知識が身に付いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講義、演習、実験を通して身につけた知識は卒業論文という形で表現され口頭発表される。(1)文献レビュー、課題（問題）設定、方法論的吟味・検討、データ収集と分析、多角的な考察に基づいて論文を作成する表現能力や、(2)発表や討論へ積極的に参加するためのコミュニケーション能力を鍛えることで、創造的知性が身に付いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実験、演習などにおいては、一連の作業をチームで進め、ゆく協働学修の体験を積み重ねる。そのような学修体験を通して、対人関係能力、コミュニケーション能力などが身に付いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発達・教育・臨床の分野において海外の研究動向も踏まえたグローバルな視野から、心理学的課題を探究するための力を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 心理学研究法、心理統計法などの授業を受講することにより、先行研究に関する情報収集、データベースの利用、統計的分析におけるコンピュータの活用など、ICT環境を積極的に活用する力が身に付いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 汎用的な知力としては、心理学実験におけるデータ処理能力、文献購読による読解力（外国語を含む）、演習における発表時のプレゼンテーション能力、そして、授業のなかで他者とのディスカッションする力、相互に理解を深め、論理的に考える力等が身に付いている。</li> </ul>



# 教育学部 特別支援教育コース カリキュラムツリー

**ディプロマポリシー：**教育学部は、学士課程教育において、「広い視野と深い教養をもった豊かな人間性を基盤とした教員及び教育関係職員養成のため、必要な基礎的・専門的な知識・技術を修得させ、併せて主体的な課題探究能力を育成する」ことを目的としています。特別支援教育教員養成課程は、「広い視野と深い教養をもった豊かな人間性を基盤とした教員の養成と、地域社会における特別支援教育の指導者の養成のため、教員としてそして特別支援教育の指導者として必要な基礎的・専門的な知識を修得させ、併せて主体的な課題探究能力を育成する」ことを目的としています。このことを踏まえ、以下に示す学修成果を達成すべく編成・実施された教育課程において、教養教育では幅広い分野の知識、各課程・専攻では分野の特性に応じた知識・能力を身に付けるとともに、所定の単位を修得し、以下の資質・能力を身に付けた者に、学士の学位を授与します。

- ・ 特別な支援を必要とする子どもたちに対する専門的立場からの理解力・実践的指導力を身につけることができる。
- ・ 現代的な教育課題に関する専門的知識を身につけ、課題を分析し解決するために活用できる。
- ・ 教育上の諸問題を広い視野で多面的に捉え、協働しながら解決していくためのコミュニケーション能力を身につけることができる。

**カリキュラムポリシー：**

**体系性：**特別支援学校教員免許取得のための必要履修科目を基盤として教育課程を編成しています。

**段階性：**基礎的な科目から学年進行に沿って応用的・発展的な科目を学修するよう編成しています。

**個別化（進路への対応）：**学生は3年次より研究室に配属され、各自の持つテーマに基づいて学習・研究を進めると共に、将来の進路に即した指導を指導教員が行うように編成しています。

<b>豊かな教養</b> ・ 特別支援教育を推進するために必要な人文科学・社会科学に対する一般的な知識と理解を持っている。 ・ 特別支援教育を推進するために必要な自然科学・生命科学に対する一般的な知識と理解を持っている。	<b>確かな専門性</b> ・ 特別支援教育学（特別支援教育学、特別支援教育心理学、特別支援教育指導学）の基本的理論・概念について説明することができる。 ・ 各種の障害をもつ児童生徒への基本的な指導・学習支援を行うことができる。 ・ 特別支援教育学（特別支援教育学、特別支援教育心理学、特別支援教育指導学）における研究方法を使用することができる。かつ研究の最新動向について様々な情報元から主体的に学ぶことができる。	<b>創造的な知性</b> ・ 特別支援教育における現実の課題を見出し、解決方法を提案することができる。	<b>社会的な実践力</b> ・ 学校組織の中で他の教員と協同して特別支援教育を行うことができる対人関係能力を持っている。 ・ 組織の中で主体的に特別支援教育を推進できるリーダーシップを持っている。	<b>グローバルな視野</b> ・ 世界の特別支援教育の動向について一般的な知識と理解を持っている。 ・ 外国語の文献を読解することができる。	<b>情報通信技術の活用能力</b> ・ インターネットやeメールを含むICTを使用し、情報の収集・分析や交換を行うことができる。 ・ 障害児への教材開発において各種の情報通信技術を活用することができる。	<b>汎用的な知力</b> ・ 相手に分かりやすく、相手の関心を惹きつける話し方で、情報や意見を伝えることができる。 ・ 明晰な理論の筋道と説得力のある表現を用いて、文章を作成することができる。
--	--	---	---	---	--	---

